



# 新年のごあいさつ

新十津川町長  
熊田 義信

町民の皆さま、新年明けましておめでとうございます。皆さまには夢あふれる輝かしい平成28年の新春をさわやかに迎えのこととお喜び申し上げます。また、日頃から、町政全般にわたりご理解とご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年の町長選挙におきましては、町民各位のご支援のもと町政を担当させていただくことになりました。身は余る光栄であり、皆さまからお寄せいただきました声を町政に活かし、その信頼と期待に応えるため決意と情熱をもって魅力あるまちづくりを目指して努力してまいります。

昨年を顧みますと、タイヤフランスにおいて一般市民を巻き込んだ爆弾テロが発生し、多くの市民が犠牲となる痛ましい事故が発生しました。また、日本国内では、茨城県常総市において、記録的な

大雨により鬼怒川が氾濫し犠牲者が出るなど事件や事故、災害も多い年でした。一方で明るい話題もありました。北里大学の太村智教授と東京大学の梶田隆章教授がノーベル賞を受賞したことは、研究分野は違うものの、二人の功績によって人類の未来が大きく開けるものと希望を持ったところです。

さて、本町に目を向けますと、昨年は、新十津川農業高校生が日本学校農業クラブ全国大会農業鑑定競技会に出場され、見事優秀賞に輝いたこと、さらには新十津川尚武会が北海道団体優勝剣道大会の60歳以上の部において、全道優勝を果たすなど全道・全国に新十津川町の知名度を高めていただきました。

基幹産業である農業、特に水稲の作柄は5年連続の豊作となり、米の出荷数量は、出荷確約数量に対し110パーセントと全国平均を上

回る結果となりました。生産者の皆さまや関係団体の不断の努力の賜物であり、心から敬意を表するところでもあります。

しかしながら、昨年10月に大筋合意に至った環太平洋経済連携協定(TPP)は、日本の農業、北海道農業に大きな影響を及ぼすことが懸念されております。TPPの発効までには2年程度かかるとのことですので、今後、中期的には現状を維持しつつ、国の政策を注視し、見極めてまいりたいと考えております。

私が町長に就任して8カ月が経過しました。その間、真っ先に着手したのは、新十津川版総合戦略の策定であります。策定にあたっては、町民の皆さまから多くのご意見をいただき、人口減少問題の打開と活力ある地域社会の実現に向け「人口減少の抑制」「子育て環境の充実」、そして「地域の活性化」の3つの柱を基に5年間の計画を策定することができました。

心より感謝申し上げます。本年を「総合戦略元年」と位置付け、町民の皆さまが充実した生活を送っていただけけるよう政策の実現に向け、

議決機関としてしっかりと施策に対する議論を重ね、限られた財源を重点的かつ効率的に執行し、最大の成果が得られるよう監視や政策立案など、議会の機能を十分に果たしていく責務があります。

そのためには、町民の皆さまの声を聞き、町民の意思を町政に的確に反映させ、町民とともに歩む議会でなければなりません。



# 新年のごあいさつ

新十津川町議会議員  
長谷川 秀樹

新年明けましておめでとうございます。

町民の皆さまには、希望に満ちた平成28年の輝かしい新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げますとともに、日頃より町議会の活動に温かいご支援とご協力を賜り、深くお礼申し上げます。

さて、昨年4月に町議会議員選挙が行われ、新人5人を含む11人の議員による新たな議会がスタートしたところでもあります。私も議長に就任して早くも8カ月が過ぎようとしておりますが、初春を迎え、新十津川町のさらなる発展のために、引き続き努力してまいります。

昨年を振り返りますと町議会では、新十津川町まちづくり基本条例に基づき、議会機能の一層の充実強化に努め、また、10月から11月にかけては、議会報告会を開催いたしました。

また、本年は、本町の人口ビジョンを踏まえた新十津川町まち・ひと・しごと創生総合戦略が具体的に動き出します。

地方創生に向け、「安定した雇用創出プロジェクト」「人を引き寄せる魅力創生プロジェクト」「子育てしたい希望実現プロジェクト」「時代に合った地域確立プロジェクト」という4つの基本目標に基づき施策が展開されますが、町議会としても、二元代表制の下、

今後も、私も議員一同、新十津川町民の代表として、その役割と責任の重さを自覚し、より身近な議会、開かれた議会の実現を目指し、議会の見える化を進めるとともに、決意も新たに、活力と思いやりのある新十津川町の実現に向け、さらに創意工夫を重ね、豊か

かで住みよいまちづくりを目指し、町民の皆さま方のご期待に応えるよう、全力を尽くしてまいりますので、なお一層のご支援、ご協力を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

結びに、新しい年が町民の皆さま方にとって、実り多き年となりますこと心より祈念いたします。また、年頭のごあいさつとさせていただきます。

結びに、新しい年が町民の皆さま方にとって、実り多き年となりますこと心より祈念いたします。また、年頭のごあいさつとさせていただきます。

## 新十津川町の「つなぐ」

けて取り組んでまいります。結びになりますが、皆さまには本年も変わらぬご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げます。とともに、今年一年が健康で明るい年となりますことを心からお祈り申し上げます。新年のごあいさつとさせていただきます。

12年前 2004年・平成16年  
新竜大橋渡橋式、アカシヤ俳句全国大会、台風18号被害6億7千万円、第1回海山フェスタ、全天候型室内パークゴルフ場オープン

24年前 1992年・平成4年  
NHKドラマスペシャル「新十津川物語」大正編第1部放送、ロケ完了

36年前 1980年・昭和55年  
新十津川おどり保存会設立総会、第1回ふるさとまつり、開基90周年記念式典、新十津川スキー場オープン

48年前 1968年・昭和43年  
町字名地番改正施行、健康づくりの町宣言式

60年前 1956年・昭和31年  
新十津川町社会福祉協議会発足

72年前 1944年・昭和19年  
新十津川農業会設立総会

84年前 1932年・昭和7年  
河川氾濫、浸水300戸、田畑浸水1000町歩

96年前 1920年・大正9年  
開村30周年記念功労者表彰式、徳富川大出水、大氾濫

108年前 1908年・明治41年  
富山県出身者獅子神楽を移入

120年前 1896年・明治29年  
北海道製麻会社新十津川製綿所菊水町に設置

